



こだわりのお茶を提供する京都の老舗企業

舞妓の茶本舗 京都府京田辺市

日本有数の玉露の産地・京田辺市にあるお茶製造販売の老舗企業「舞妓の茶本舗」。地元産の玉露を中心に、煎茶、抹茶、ほうじ茶など、数多くの茶葉の製造販売を行っている。

また、抹茶カステラ、抹茶ロールケーキ等のスイーツを販売。喫茶店「MAIKO 茶ブティック」の経営も行うとともに、携帯電話を使った位置ゲーム「コロニーな生活☆PLUS」の提携店舗になるなど、多くの人々にお茶を楽しんでいただく“きっかけ”づくりにも力を入れている。

数年前からは、日本国内にとどまらず、アメリカ、ヨーロッパなど、世界各地への販売も積極的に行い、日本茶の魅力を世界に発信している。

会社概要



会社名：舞妓の茶本舗 株式会社タミヤ
本社：京都府京田辺市普賢寺 上大門 2-1
電話：0774-62-0256
FAX：0774-63-3269
創業：1970年（昭和45年）
代表者：代表取締役 田宮 正康
資本金：1,000万円
従業員：16名
事業：お茶の製造販売、通信販売および喫茶店経営他
URL：<http://www.maiko.ne.jp>

京都にふさわしい社名「舞妓の茶本舗」

田宮家は、代々、地元産の玉露を中心としたお茶の卸売業を営んでいた。昭和45年、同社に勤務していた、社長の叔父で玉露づくりの名人、山下壽一氏が、全国茶品評会において、一等一席・農林水産大臣賞を受賞したのを機に、自らエンドユーザー（最終消費者）に対し、高級緑茶の販売を開始。社名についても、京都にふさわしい、世界の人々にも分かりやすい名前にと「舞妓の茶本舗」に改名した。

同社は「茶農家の方々が苦勞してつくられた本当によいお茶をいかに多くの人々に楽しんでいただけるか」をコンセプトに、自社の普賢寺製茶場から昔ながらの生産・製造原理にて培われた玉露、煎茶、ほうじ茶、玄米茶など、数多くのこだわりの茶葉を提供している。



山下壽一氏作「最高級玉露」

ピュア抹茶カプセル

昭和45年の大阪万博では、地元産の玉露を万博会場にて披露。また、皇室の京都ご訪問の際には、幾度となくお茶のおもてなしを行っている。

そして、平成12年、ドイツ・ハノーバー国際万国博覧会では、日本の魅力を世界中の皆様にお届けしたいと、粉末状にした抹茶をカプセルに入れた「ピュア抹茶カプセル」を披露。英語、ドイツ語、ロシア語のホームページも立ち上げ、世界中にお茶を発信している。

日本茶普及に向けた取り組み

日本人の誰もが口にするお茶は、平安時代より多くの人々に親しまれてきた。また、お茶は、がんを抑制する効果や、カテキンの殺菌・消臭の作



舞妓の茶本舗本社

用があると言われ、健康飲料として広くメディアなどに紹介されるようになった。

そこで、同社は茶葉の販売に加え、より多くの人々にお茶に親しんでいただこうと、抹茶スイーツの販売を開始。カステラ、ロールケーキ、チョコレート、フィナンシェなどに、厳選された舞妓の茶本舗の抹茶を加えた商品は、健康に良いと言われるお茶を手軽に摂取できるとして人気が高まっている。

また、平成10年、リラックスした雰囲気でお茶や抹茶スイーツを楽しめるスペースとして、JR京田辺駅前に、喫茶店「MAIKO茶ブティック」をオープン。田宮社長は「茶葉から入れた本物のお茶を飲んでいただく“きっかけ”になれば幸いです。」と語っている。

「しあわせ茶」をナショナルブランドに

結納などのお祝い事の際、緑茶に昆布を入れて飲む慣習に着目し、抹茶入りの玄米茶に高級北海道産の昆布をブレンドした新しいお茶「しあわせ茶」を開発。「楽しくなる、笑顔になる、ホッとする。」とのコンセプトからつくられたしあわせ茶を、田宮社長は「今後、誰もが知っている、どんなシーンでも利用いただける、一つのナショナルブランドに育てたい」と意欲を燃やしている。



笑門来福「しあわせ茶」

ゲームと旅行を融合する「コロプラ」と提携

平成22年3月、同社はお茶の世界を消費者に知っていただく一つのきっかけとして、携帯電話を使った位置ゲーム「コロニーな生活☆PLUS」（略称：コロプラ）と連動した日本の逸品カード「コロカ」の提携店舗となった。

ゲームはコロニーと呼ぶ仮想世界で街を育てる内容で、実際に移動した距離に応じてゲームが進展する。コロプラは大人がはまるゲームとして、

近年急拡大している。

利用者が提携店に出向き、対象商品を購入すると、購入金額に応じて「コロカ」と呼ぶ仮想世界で使うアイテムが手に入るカードが渡される。コロカは、仮想アイテムを入手するためだけではなく、旅行の記念として集める利用者も多い。

コロプラの「コロカ」



来店者にお茶を振る舞う田宮社長

「舞妓の茶本舗」では、電車・タクシーを乗り継いで来店される利用者に対し、ゆっくりとお茶を楽しんでいただこうと、店舗内にしつらえた座敷にて囲炉裏を囲んでお茶と和菓子を振る舞っている。

コロプラの提携店となり1年経過したが、約3,000組が来店。中心は25歳から40歳までの今までほとんど利用がなかった若い客層で、全国すべての都道府県から来店があったと言う。リピーター率は半数を超えており、「お茶といえばもっぱらペットボトルを愛飲しているお客様に、急須で淹れた本物のお茶を提供することで、新しい世代を開拓したい」と田宮社長は語る。

「本当に良いお茶を皆様にお届けしたい」と、宇治茶の名匠、山下壽一氏（内閣総理大臣「勲六等瑞宝賞」受賞、現代の名工、そのほか受賞歴多数）が作り上げた最高級の玉露を始め、数多くのこだわりの茶葉を提供する同社。新市場の開拓と新商品の開発に余念なく、今後も躍進が期待できる。

（岡本 忠、山城 満）